カレー15店 立ち上がレー

仙台などでスタンプラリー 15日開始

スタンプラリーの台紙が出来上がり、打ち合わせをする「東北カレー同盟」の店主たち＝２日、仙台市宮城野区のスリーフレーバーカレー

新型コロナウイルスの影響を受ける仙台市などのカレー店15店が協力し、各店を巡ると景品が当たるスタンプラリーを15日に始める。景品に県産農水産物などを用意し、同様に需要減に苦しむ生産者も支援する。クラウドファンディング（ＣＦ）を始め、景品購入に協力を呼び掛けている。

「仙台カレートリップ　スタンプラリー」と題し仙台市の専門店３店でつくる「東北カレー同盟」が企画。市内や名取、岩沼両市のカレー店に参加を呼び掛けた。

スタンプを３個集めると１回抽選でき、以降は４個集めるごとに抽選回数が増える。スタンプがたまれば台紙を撮影し、無料通信アプリLINE（ライン）を使って応募する。期間は３月末まで。４月以降の抽選会で県産の牛肉や豚肉、ブランド米などが当たる。

カレー同盟によると、コロナ禍で客数が減っている店が多く、感染防止策を講じた上で来店のきっかけをつくる。新しいひいき店を見つけてもらうのも狙い。

景品を提供する生産者も期待する。角田市で牛肉直売所「ベコ屋の洋ちゃん」を営む畜産農家山田洋一さん（65）は「外食需要の減少が直撃した生産者にはありがたいと思う。商品も知ってもらえる」と話す。

カレー同盟に加わるスリーフレーバーカレー（仙台市宮城野区田子）店主の加藤宏幸さん（38）は「お客さんにも店にも生産者にも利がある取り組み。新型コロナ収束後も続くモデルをつくりたい」と意気込む。

ＣＦは専用サイト「キャンプファイヤー」で50万円を目標に２月末まで実施中。支援者には金額に応じスタンプラリーの抽選券や冷凍カレーなどが贈られる。連絡先はスリーフレーバーカレー022（209）4027。

景品に農産物 生産者支援も

豪雪・鳴子で除雪手助け

雪山を崩し、建物の1階に光が差し込むようになった

大崎耕土支援プロジェクト

南郷高生「めっちゃ大変」

南郷高（美里町）の1～3年生計8人が6日、豪雪地域の大崎市鳴子温泉南原地区を訪れ、介護施設や農業施設で除雪するボランティア活動をした。同高の地域貢献活動「大崎耕土 世界農業遺産支援プロジェクト」の一環。南原地区での除雪は1月に続く2回目。

地区は今冬、1・5～2㍍の積雪に見舞われた。グループホーム「ふかふか・はうす」は、屋根から落ちた雪が約3㍍の高さになり、1階は光が差し込まなくなった。生徒と教員が積もった雪山に登り、スコップで雪かきをした。汗をかくため、Tシャツ姿で作業する人もいた。

ホームを運営する「さんりん福祉会」の深沢文雅理事長は「若い力の応援は心強い。1階に光が入るようになった」と感謝した。

2年及川碧さん(16)は雪の少ない東松島市出身。「春来たときとは全然違い、こんなに雪が積もっているのも初めて見た。めっちゃ大変」と驚きながらも熱心に取り組んだ。

同高の地域貢献活動は大崎耕土の伝統的水管理システムを学ぶとともに、人手不足の地域を支援するため本年度始まった。昨年6月は、南原地区で獣害防止柵の設置に協力。9月は大崎市の化女沼で外来種の雑草の草刈りをした。

匹田哲弥校長も今回、生徒と並んで雪かきをした。「上流の雪があるから、南郷の水があることを学んでくれた。地元の人に歓迎され、地域貢献できることも実感したのでは」と話した。

新年度以降も、大崎耕土の文化や芸術についての支援プロジェクトを続ける。

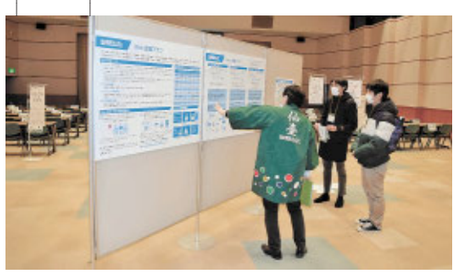
イベント向け 感染対策紹介

仙台国際センター

新型コロナウイルス対策を徹底した展示会、国際会議などイベントの在り方を提案するフェアが、仙台市青葉区の仙台国際センターであった。イベント開催を検討する企業の担当者ら約150人に対し、感染拡大防止に向けたセンターの取り組みを紹介した。

イベントは2日に行われ、指定管理者の企業連合体「青葉山コンソーシアム」が主催した。商談のブースに設置するアクリルパネルなど、センターが準備する感染対策用の備品を展示。オンライン会議プランとサービス内容、料金体系などをパネルで説明した。

イベント関連企業の担当者4人による座談会も上映された。「オンライン学会は参加者が学会員なのか、会費を支払ったかを判断し、コンテンツを提供する特殊性がある」「来場イベントは参加者の個人情報を取得する必要があり、情報管理のコストとリスクが増える」などと課題を指摘した。



オンライン会議の料金プランなども紹介したフェア

災害乗り越え アイヌ生きる

仙台・「地底の森」特別講座

遺跡からアイヌの人々が災害にどう向き合ったかを学んだ特別講座

東北芸工大・青野准教授 講演

仙台市太白区の地底の森ミュージアムで6日、全2回の特別講座「ミュージアムと災害」が始まった。初回は「二度の噴火・津波で被災したアイヌコタン」と題し、東北芸工大芸術学部歴史遺産学科の青野友哉准教授が講演した。

青野氏は、17世紀の北海道伊達市有珠地区に暮らしたアイヌの人々の生活に言及。同地区は1640年に対岸の駒ケ岳が、63年に有珠山が噴火し、津波の被害を受けた。遺跡発掘の結果、二つの噴火の間の地層から貝塚や住居跡などが見つかり、63年以降の地層でも貝塚が発見された。

「大きな被害を受けても元の場所に戻り、再び生活を始めている。生活の場から見える風景を大事にするアイヌの人々の強い思いが感じられる」と話した。

2回目は3月20日に開かれる。同ミュージアムは例年、考古学講座を開いているが、今年は東日本大震災から10年を迎えるため、災害に特化した講座を企画した。

宮城きょうのお天気は…

	6	9	12	15	18	21	0時	
降水確率▶		30		30		0		(%)
仙台東部	☁	☁	☁	☁	★	★		9 4
気仙沼	☁	☁	☁	☀	★	★		7 2
石巻	☁	☁	☁	☁	★	★		7 3
角田	☁	☀	☁	☁	★	★		11 2
降水確率▶		50		70		40		(%)
仙台西部	☁	☁	☂	☂	☃	☁		5 1
古川	☁	☁	☁	☁	☁	☁		6 1
白石	☁	☀	☁	☂	☁	☁		8 3
	6	9	12	15	18	21	0時	

＜風＞東部は西のち北西やや強い。西部は西。
＜波＞１のち1.5㍍。あすは２㍍。

今週のみやぎ

（7～14日）

【催　し】

9日（火）
しっぽゆらゆら写真展（9時、青葉区・市役所本庁舎1階ギャラリーホール、24日まで）

10日（水）
ＤＯＲＥＭＥ卒業制作ファッションショー（10時、青葉区・せんだいメディアテーク、11日も）▷企画展「わたしは思い出す―10年間の子育てからさぐる震災のかたち」（10時、若林区・せんだい3・11メモリアル交流館、6月13日まで）

11日（木）
冬季特別開園（9時、太白区・市野草園）

12日（金）
絵画「東日本大震災の記録展」（10時、青葉区・せんだいメディアテーク、16日まで）

14日（日）
ショートピース！仙台短編映画祭2020（11時、青葉区・せんだいメディアテーク、20、21日も）▷冬季特別開園（9時30分、太白区・秋保大滝植物園）

春海藻 肉厚、低カロリー

仙台でPR きんぴらやしゃぶしゃぶで

市場に並べられた旬の海藻と料理

ワカメやメカブなど「春海藻」の水揚げのピークに合わせ、水産卸の仙台水産（仙台市）は5日、仙台市若林区の市中央卸売市場で消費拡大を狙ったイベントを開いた。「茎ワカメのきんぴら」や「メカブの卵焼き」、しゃぶしゃぶ鍋など、春海藻をおいしく食べる料理を紹介した。

この日は県内で取れた生ワカメ750㌔、生メカブ300㌔などが入荷し、活発に取引された。水揚げのピークは3月上旬までの見込み。

新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が増えており、運動不足が問題になっている。同社によると、低カロリー食として海藻が注目され、消費が増えているという。

仙台水産特種部の鈴木潤一部長(42)は「県内産海藻の特徴は肉厚なこと。しゃぶしゃぶやみそ汁などで味わい、健康的な食生活を送ってほしい」と話した。

県からのお知らせ

各記事の詳しい内容は㊐にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

広報課ホームページ　宮城県 県からのお知らせ 検索

県職員用パソコン画面への広告を募集します

県職員が使用するパソコン画面に表示される広告を募集します。

●募集要項公表／令和3年2月8日(月)
●募集対象／令和3年4月～令和4年3月掲載分
●広告掲載料／1カ月当たり5万円(税別)
●申し込み／下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
㊐情報政策課　☎022(211)2471

再生可能エネルギー普及啓発動画

再生可能エネルギーに対する理解や認知度の向上を目的として、普及啓発動画を作成しました。

再生可能エネルギーの種類や有用性などについて、分かりやすく、そして楽しみながら学んでいただけるよう、仙台寄席などで活躍中の六華亭遊花さんと子役が、落語形式で説明します。

動画はYoutubeで公開していますので、ホームページをご覧ください。
㊐再生可能エネルギー室
☎022(211)2655

みやぎ食の安全安心取組宣言者募集

●活動内容／衛生管理、適正表示、記録等に自主基準を定めて取り組んでいることを「むすび丸ロゴマーク」店頭掲示等でPR
●対象／県内の食品関連事業者・生産者
●申し込み／申請書を郵送、Eメールまたはファクシミリで下記へ(申請書は下記で配布、またはホームページからダウンロード)
㊐食と暮らしの安全推進課
〒980-8570(所在地記載不要)
☎022(211)2643 FAX022(211)2698
Eメール syokua@pref.miyagi.lg.jp

文化の力で人生を豊かに共感の輪を広げよう～障害者芸術文化活動～

芸術文化を志す障害のある方を支援するため、ご本人やご家族、支援者を対象とした相談窓口を設置しています。造形活動や音楽、ダンスの活動に参加したい、作品を発表したい、障害のある方の芸術文化活動を支援したいなど、お気軽にご相談ください。
●相談／SOUP(障害者芸術活動支援センター@宮城)〒980-0804仙台市青葉区大町2丁目3-22　第五菊水ビル3階TRAC内
☎070(5328)4208 FAX022(774)1576
Eメール soup@ableart.org
㊐障害福祉課　☎022(211)2541

女性のための面接相談

ＤＶや離婚、セクハラ、子育てなど、人間関係で悩む女性のための面接相談を実施します。

●日時／3月3日(水)午前10時30分～午後4時
●場所／宮城県石巻合同庁舎
●費用／無料
●申し込み／前日までに下記へ
㊐東部保健福祉事務所母子・障害班
☎0225(95)1431

【2022年3月大卒者等対象】みやぎ就職ガイダンス

県内での就職を目指す大学生等を対象とした就職ガイダンスを開催します。

●日時／3月3日(水)　午後1時～4時
●場所／仙台国際センター　展示棟
●内容／県内企業約80社の合同企業説明会
●対象／2022年3月卒業予定の大学院生、大学生、短大生、専門学生等および既卒3年以内の方
㊐雇用対策課　☎022(211)2772

宮城障害者職業能力開発校 短期課程　訓練生募集

●科名／職域開発科
●内容／事務分野での基本的な作業やパソコンの利用方法及び物流分野でのピッキングや仕分け等の実務を習得します。
●対象・定員／精神障害者保健福祉手帳所持者・10人
●訓練期間／4月13日(火)～9月17日(金)
●選考日／3月18日(木)
●申込期間／2月26日(金)までに所轄のハローワークへ
㊐宮城障害者職業能力開発校
☎022(233)3124 FAX022(233)3125

山仕事ガイダンス

●内容／「林業への就業に関する支援プログラムの紹介」「森林・林業に関する基礎講座」「フォレストワーカーインタビュー」「林業機械操作体験」
●定員／30人(先着順)
●日時／2月14日(日)午前10時～午後4時
●場所／宮城県青年少年の森　森林学習館(利府町)
●申し込み／2月10日(水)までに、郵送(必着)・メールなどにより下記へ
㊐林業振興課
〒980-8570(住所記載不要)
☎022(211)2913 FAX022(211)2919
Eメール rinsink@pref.miyagi.lg.jp

宮城県第二工業高等学校 電気科特別編入試験

●出願資格／第2種・第1種電気工事士または第3種電気主任技術者資格取得を目指す高等学校卒業(見込み)の方
●募集人数／若干名
●出願資格の事前審査／2月15日(月)までに必ずお問い合わせください。
●編入学年／第3学年(修業年限2年)
●出願期間／3月2日(火)～12日(金)
●試験日／3月22日(月)
●試験内容／作文、数学、面接
●費用／950円
㊐宮城県第二工業高等学校
☎022(221)5659

宮城県東松島高等学校 科目履修生募集

●対象／他の学校に在籍しておらず、1年間通して受講できる方
●募集人数／各科目若干名
●募集講座／①世界史B②日本史B③化学④生物⑤物理⑥簿記⑦数学Ⅱ⑧政治経済⑨倫理⑩数学A⑪数学B⑫科学と人間生活⑬物理基礎⑭化学基礎⑮生物基礎⑯地学基礎
●費用／①～⑦は7000円、その他は3500円(教科書代など別途負担)
●募集期間／2月26日(金)まで
㊐宮城県東松島高等学校
☎0225(82)9211

定時制高等学校 社会人特別選抜入学試験

●出願資格／中学校を卒業またはこれと同等以上の学力があると認められ、3年以上勤務またはその見込みがある方(自営業者や主婦の方を含む)
●検査および選抜方法／3月4日(木)または5日(金)に学力検査および面接などを実施し、推薦書・調査書を含め総合的に審査
●費用／受験手数料950円
●出願期間／2月15日(月)～18日(木)午前11時(必着)
※募集を行う高等学校や募集定員など詳しくはホームページをご覧ください。
㊐高校教育課　☎022(211)3624

県議会2月定例会開会

2月16日(火)午後1時から、2月定例会の本会議が開会される予定です。

本会議や委員会は傍聴できるほか、本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。

【ラウンジコンサート中止のお知らせ】
令和2年度については、ラウンジコンサートの開催を中止とさせていただきますのでご了承願います。
㊐議会事務局総務課
☎022(211)3571

労働相談窓口

賃金や勤務時間などの労働条件、解雇、退職などさまざまな労働問題に関する相談に対応する「労働相談窓口」を設置しています。相談内容により、他の適切な機関の情報提供もできますので、下記専用ダイヤルへお気軽にご相談ください。
●受付時間／月曜日～金曜日(祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分
●県労働相談窓口(専用ダイヤル)
☎022(214)1450
㊐労働委員会事務局
☎022(211)3787

宮城県警察官採用試験の受験年齢引き上げ

宮城県警察官採用試験における受験年齢上限を令和3年度から35歳に引き上げます。

令和3年度の受験対象者は、昭和61年4月2日以降に生まれた方です。

試験日程については、宮城県警察のホームページをご確認ください。その他の職種は、3月初旬にホームページなどで発表する予定です。
㊐警察本部警務課採用係
☎0120(204)606

検定合格警備員の配置が必要となる路線の改正

令和3年4月1日から、「警備員等の検定等に関する規則」による検定合格警備員の配置が必要となる路線が改正となり、現行の18路線から19路線になります。現行の路線に追加されるのは、「主要地方道仙台村田線」(県道31号)です。

詳しくは、宮城県警察のホームページをご覧いただくか、警察本部生活安全企画課へお問い合わせください。
㊐警察本部生活安全企画課
☎022(221)7171(代表)

企画／宮城県広報課

元気！健康！プロジェクト
職場での健康づくりを応援する
健康みやぎサポーターズ
健サポフレンズ募集　登録料・会費 無料
「健サポフレンズ」は、職場における従業員の健康づくりに関心のある企業・団体に登録いただく会員組織です。
河北新報社が健康経営実践のサポートをはじめ、職場での健康づくりに役立つさまざまな情報をご提供します。
従業員を大切にしている企業・団体を大募集！
職場での健康づくり(健康経営)に
❶取り組んでいる　❷取り組む予定がある　❸取り組みたいと考えている
以上のいずれかに該当する、宮城県内に事業所を有する企業・団体であること。
職場での健康づくりを、河北新報社がサポートします！ メリットたくさん！詳しくはWEBで！
健サポフレンズ新規登録はWEBサイトから
https://www.kahoku.co.jp/ad/health-supp/entry/
健サポフレンズ 検索
主催：河北新報社　協力：宮城県、協会けんぽ宮城支部